

**製品名: DEPDC5 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe87705**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000
分子量	Calculated MW:181 kDa; Observed MW:181 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	DEPDC5
別名	DEP.5; FFEVF; FPEVF; FFEVF1
遺伝子ID	9681, 277854
SwissProt ID	O75140, P61460
免疫原	ヒト DEPDC5 の合成ペプチド

**背景**

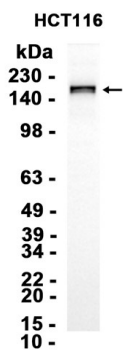
この遺伝子は、Gタンパク質シグナル伝達経路に関与するIML1ファミリータンパク質のメンバーをコードしています。ラパマイシン

標的タンパク質複合体 1 (mTORC1) 経路は、栄養素の利用可能性を感知することで細胞増殖を制御します。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、GATOR1 (Rags に対する GAP 活性) 複合体の構成要素であり、mTORC1 経路のアミノ酸感知枝を阻害します。この遺伝子の変異は、常染色体優性遺伝性の家族性焦点性てんかん (可変焦点てんかん) と関連しています。この遺伝子のイントロンにおける一塩基多型は、慢性 C 型肝炎ウイルス感染者における肝細胞癌のリスク増加と関連付けられています。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエントが生じます。[RefSeq 提供、2014 年 3 月]

## 研究分野

-

## 画像データ



DEPDC5 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した HCT116 細胞抽出物のウエスタンブロット分析。